



田村憲久 厚生労働大臣(右)と本田英一 日本生協連代表理事会長

※写真撮影時のみマスクを外しました

新しい形の「つながり」と「誰も置き去りにしない」取り組みを

日本生活協同組合連合会
代表理事会長 本田英一



新年あけましておめでとうございます。
います。

昨年にも各界の皆様より、全国の生協に対し多大なご支援を頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は全国に深刻な被害をもたらし、生協もたいへん大きな影響を受けました。役員・組合員の感染予防に努めながら宅配・店舗・共済・医療・福祉の事業を継続し、ふだんのくらしを支える努力を続けて参りました。あわせて、医療・介護従事者にむけた募金やマスク・手袋などの衛生資材の寄附、ひとり親家庭や子ども、アルバイト先を失った学生など生活困窮者に向けた募金や食材提供など、地域においてさまざまな支援の輪を広げてきました。

昨年の弊会通常総会では、「コープSDGs 行動宣言」なども踏まえた、2年間の全国的な議論の到達点として「日本の生協の2030年ビジョン」をつなぐ力でも未来をつくるCO-OP 2030」を採択しました。社会的距離を確保しつつ、制限された社会・経済活動を進めざるを得ない中で、これまで協同組合が大切にしてきた「人と人とのつながり」づくりが大変困難な状況です。このような時こそ、新しい形の「つながり」を模索しつつ、SDGsの基本理念である「誰も置き去りにしない」取り組みを、各地の行政、社会福祉協議会や、他の協同組合など地域の様々な組織や団体とも連携し、進めていきたいと存じます。各界の皆様より、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息に向かうことを願いつつ、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、新年のご挨拶に代えさせていただきます。



「たすけあい」である共済の更なる役割発揮に向けて

日本コープ共済生活協同組合連合会
代表理事理事長 和田 寿昭



新年、あけましておめでとうございます。
ございます。

昨年は、年初より新型コロナウイルスの感染が世界中に拡大し、多くの尊い命が失われました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、罹思された方々に心よりお見舞い申し上げます。

CO・OP共済では、不安な思いをされている組合員に少しでもお役立ちしたいという想いから、共済金支払の迅速対応、新型コロナウイルスに関する共済金の支払対象範囲の拡大、共済掛金の支払猶予期間の設定など対応してまいりました。全国の組合員より、生協職員・コープ共済連職員の対応について、感謝の声や励ましの声、職員の体調を気遣う声など数多く頂戴したことは、この難局を乗り越えていく大きな力となっております。

新型コロナウイルスの感染拡大は、組合員のくらしに多大な影響を及ぼし、予断を許さない状況が続いています。組合員どうしの「たすけあい」の気持ちを形にし、組合員のニーズに合った保障を手頃な掛金で提供するCO・OP共済の役割は、今後益々大きくなると確信しております。

また、昨年は、「CO・OP共済2030年ビジョン」および2020年からの3か年計画である「共済中計2022」を決定しました。人類共通の目標である「SDGs」に積極的に取り組み、次の時代を担う若い世代に共済の輪に加わってもらえるよう、よりよい商品づくりに取り組みむこと、「たすけあい」の共済であることを実感・共感していただくための組合員参加の場づくりを進めることなど、様々な課題に全国の会員生協とともに取り組み、挑戦していきます。そして、厳しい事業環境を切り開き、組合員のくらしの向上にお役立ちしていきたくと考えております。

これからの一年が皆様にとって価値あるものとなることをご期待申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

「誰もが健康で居心地よくらせるまちづくり」をともに

日本医療福祉生活協同組合連合会
代表理事会長理事 高橋 淳



あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

2020年は新型コロナウイルス感染拡大により国民の命が脅かされ、人々のくらしや雇用が破壊され、孤立と貧困、格差が拡大しました。医療福祉生協では、新型コロナウイルス感染拡大に対応し、患者を守り地域の医療・介護を守るために全力を尽くしてきました。そのような中、多くの団体や地域の皆さまから、物心両面で医療福祉生協をご支援いただいたことに厚く感謝申し上げます。

また、2020年も、台風・豪雨など全国各地で相次いで自然災害が発生しました。亡くなられた皆様に哀悼の意を表するとともに、被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。一日も早く生活再建

ができるよう私たちが力を尽くして参ります。

昨年私たちは「医療福祉生協の2030年ビジョン」を決定しました。メインテーマを「誰もが健康で居心地よくらせるまちづくりへの挑戦」とし、10年後の私たちのありたい姿を示しました。ビジョンの実現に向け「総合力と連携」を合言葉に、地域組合員が事業基盤をささえ、地域の「困った」の解決をめざしました。また地域住民と職員が組合員としてともに学び、コロナ禍での組合員活動の新たなスタイルを創造してきました。地域の協議体への参加や総合事業への挑戦など、自治体との連携にも力を入れ、協同組合間協同や様々な団体と連携・連帯を深め、平和や社会保障改善の運動にも積極的にとりくんでいます。

今後も「持続可能な開発目標(SDGs)」のとりくみを一層推進し、実現にむけて力を発揮して参ります。

医療福祉生協に対する皆さまの一層のご理解と、更なるご指導・ご鞭撻をお願いするとともに、本年が皆さまにとって幸せな一年となりますよう心から祈念申し上げます。

安心して暮らし続けられる地域社会に向けた生協の役割に期待



令和3年の新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。

まずは、この度、新型コロナウイルス感染症に罹患されたり、その影響を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。また、このような状況下において、宅配事業をはじめとした暮らしを支える事業に尽力され、社会機能の維持に寄与いただいております。消費生活協同組合の皆様には、この場を借りて改めて感謝申し上げます。

生協は、その長い歴史において、食料品などの供給事業や共済事業、医療福祉事業など生活者の立場から様々な事業を行い、国民生活の安定と生活文化の向上に多大な貢献をされました。さらに近年では、高齢者や子育て世代などの居場所づくり、子どもの貧困問題への支援に加え、災害対

応など、様々な助け合い活動に積極的に取り組んでいただいております。

我が国は、人口減少や急速な高齢化など、社会を取り巻く環境が大きく変化し、コミュニティの脆弱化が進む中で、新たな社会や組織のあり方、生活スタイル・価値観の創造が求められています。

このような中で厚生労働省においては「地域共生社会の実現」を目指した包括的な支援体制づくりを進めており、このため昨年6月に社会福祉法等を改正し、本年4月の施行に向けて準備を進めています。

地域住民が様々な生活課題を抱えながらも、支え合って地域とともに創っていくにあたっては、事業活動を通して、地域に助け合いの輪を構築している皆様方の日頃の活動が不可欠であり、生協は今後の地域社会を支える重要な担い手であると考えております。

引き続き、地域社会になくしてはならない組織として御活躍されることを大いに期待しております。

結びに、生協の更なる飛躍と皆様の御多幸を祈念し、新年の挨拶といたします。

一般社団法人日本協同組合連携機構代表理事会長
一般社団法人全国農業協同組合中央会代表理事会長
中家 徹

協同組合の助け合いが困難の中で未来を築きます



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症により、組合員・国民の日常生活に大きな影響がありました。私たちが協同組合が大切にしてきた「人が集って活動する」ことを一時的に休止せざるを得ないこともありました。

様々な困難がありながらも、協同組合は、医療・介護福祉、食の生産・供給、助け合い活動をはじめ、地域の「生きる」を支える努力を続けてきました。

生協では、在宅者が増え宅配・店舗の利用が急増する中で、食品や衛生用品など生活に必要な物を確保し、組合員に届け、くらしを支える努力を懸命に続けられました。また、牛乳や農畜産物の消費を呼びかける取り組み、フー

ドバンクや子ども食堂などを通じ、困っている方に食品を届ける取り組みを強めました。こうした地域を支える思い、取り組みに心から敬意を表します。

コロナ禍はしばらく続くと思定されますが、その克服には、誰も取り残さず、助け合っていくことが必要です。まさにSDGsそのものであり、協同組合のアイデンティティの発揮が求められます。

昨年、生協では「つながる力で未来をつくる」をめざす「日本の生協の2030年ビジョン」を採択されました。皆様のビジョンも描くように、協同組合は助け合いの組織です。コロナ禍のような困難な中でこそ、協同組合が歩みを止めず、努力を重ねることが、必ずや助け合いの時代、未来を築くことになる、改めて確信したところです。

新年における皆様の益々のご健勝、ご発展をお祈りするとともに、皆様とともに、さらなる協同の広がり、協同組合の発展に向けて、JCA（一般社団法人日本協同組合連携機構）として一層の取り組みをお誓い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

地域づくりの好機ととらえ、さらなる連携強化を



新年明けましておめでとうございます。
います。

昨年は、世界中で猛威を振るうパンデミックによって社会にさまざまな影響の及ぶなか、生活協同組合におかれては、私たちの暮らしに欠かすことのできない食料や生活用品の安定的な供給にご尽力いただいております。また、令和2年7月豪雨災害では、被災地における災害ボランティア活動に対して多大なご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

社会福祉分野においても、福祉施設や社協での感染防止対策はもとより、失業や減収による生活困窮者の増加、対面での活動が制約されるなかでの地域福祉・ボランティア活動の継続等において、さまざまな課題が生じております。

そのような状況下でも、生活協

同組合がフードパントリーの活動によって生活困窮者やひとり親家庭に対して食品提供を行われるなど、地域のつながりや支え合いのための懸命な取り組みが全国各地で新たに生まれています。誠に有り難いことと思います。

貴会にご参画いただき、11の主唱団体がともに実施している『未来の豊かなつながり』のための『全国アクション』では、ホームページやオンラインサロンを通じて、全国の組織・団体の活動実践を推進しているところです。

全社協では2020年2月に『全社協 福祉ビジョン2020』を策定し、『ともに生きる豊かな地域社会』の実現をめざして活動をすすめております。

現状はまだまだ厳しい社会情勢にあります。本年を新たな時代における地域づくりの好機ととらえ、誰もが住み慣れた場所です心安心して暮らすことのできる地域社会の構築に向けて、引き続き、さらなる連携強化に向け、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

結びに、この一年が、皆様にとってよき年となりますよう祈念し、年頭のごあいさつとさせていただきます。

コミュニケーションとつながる力で、目指す未来に



日本生活協同組合連合会様、会
員生協の皆様、虹の会会員の皆
様、新年あけましておめでとうご
ざいます。皆様におかれましては
よき新春をお迎えのこととお慶
び申し上げます。また、旧年中は
格別のご支援、お引き立てを賜
り、心より御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスが
発生し、これまでに経験した事の
ないパンデミックとなりました。
緊急事態宣言が発令され、開催
予定だった東京2020オリ
ピック競技大会の延期など様々
なイベントが中止となりました。
一人一人がコロナウイルス蔓延
を防ぐ為に日々の暮らし方や働
き方を大きく見直し、在宅勤務や
外出の自粛などに取り組んでま
いました。これらの環境の中で
組合員の皆様が強く感じた事は
ライフラインとしての生協宅配・

店舗の重要性です。
世の中が大きく変化する中
で、組合員の皆様との信頼関係を
ベースとしたこれまでの活動が
認められ、新規の組合員が増え、
私ども日本生協連虹の会会員各
社は使命感を持って取り組みな
ければならないと意識を新たに
しています。

日本生協連様におかれては、
「日本の生協の2030年ビジョ
ン」つながる力で未来をつくる」
の実現に向けた大きな社会的役
割を担ってられます。これか
ら日本生協連様と虹の会が一体
となり会員相互のコミュニケー
ションを密にして、人と人とのつ
ながりから生まれる力を活かし、
SDGsの考え方をベースとしな
がら、生協の皆様が目指す姿に取
り組んで参りたいと考えており
ます。

結びにあたり、2021年も、
変わらぬご支援をお願い申し上
げますと共に、関係各位皆様の
益々のご繁栄とご健勝をして一
刻も早い新型コロナウイルスの
終息を祈念申し上げて新年のご
挨拶とさせていただきます。

